

～香りと一緒におうち時間(9)～

## 庭のハーブの香りを楽しむ。

### ローズマリーの枝で4つの方法。



ローズマリーは、さわやかな香りのハーブ

ローズマリーは、精油でもおなじみのハーブ。我が家の庭にもあり、そばを通るといい香りが漂います。

おとし、苗を買ったときは15cmほどでしたが、今やわたしの腰まで伸びました。そこで、剪定した枝をアレンジして、香りを楽しみたいと思います。

### マスク着用をお願い

新型コロナウイルス感染予防のため、店内ではマスクをお付けくださいますようお願い致します。

施術者も、ご来店からお帰りまでマスクを着用致します。

ご理解ご協力の程よろしく願い申し上げます。

#### ①まずは、活けてみます

剪定すると、30cmの大枝から5cmの小枝までそろいました。サイズ別に、器に分けてみます。

ローズマリーは素朴なハーブですが、集めて飾ることでちょっと華やかな雰囲気になりました。一か所にまとめると、香りもしっかり感じられます。



### おすすめアロマグッズ No.109



#### マザーソープ～ローズマリー (リーフ&ポタニクス)

精油とともに、ローズマリーの葉も練り込まれた石けん。泡立てたら、ナチュラルなハーブの香りに包まれました。

この石けんは完成まで100時間かかり、その長い時間が天然の保湿成分を生み出すそうです。確かに肌ざわりがやさしく、乾燥の季節にぴったりだと思いました。

ダイヤ型を  
意識したら



#### ②スワッグも作ってみました

ラベンダーと合わせて、20cm丈のスワッグを作ってみました。スワッグは、壁にかけて楽しむ花束です。

ローズマリーもラベンダーも、同じシソ科に属します。吊るしておいたら、芳香成分がよくなじみ、素晴らしい香りのハーモニーを醸し出してくれました。

#### ③葉っぱを集めて、匂い袋

スワッグを作る際、下の方の葉は取り除きます。でも捨てるのはもったいなくて、匂い袋を作りました。

クラフト紙でたとう包みにすると、ちょっとモダンな雰囲気になります。右の人形は自分で作り、乾燥した葉っぱをお腹につめました。



### 編集後記

実は、ハーブの剪定が苦手です。せっかくいい香りなのに、切り捨てるなんてもったいなくてしまいます。枝葉を透かさないで株が傷むのはわかっているけれど、毎シーズン延び延びになりがちです。

そこで今号では、けちん坊の自分の背中を押すつもりで、剪定後の枝を利用し、4つの方法を試してみました。今、家のあちこちに自然の香りが漂っていて、やってよかったなあと思っています。

#### ④挿し木で、楽しみを広げましょう

秋は暑さと湿気が和らぎ、ハーブにとって過ごしやすい季節です。そこで、挿し木も試してみました。

枝先7～8センチを土に挿すと、意外と簡単に根がつかます。ローズマリーは香りがよいことに加え、とても丈夫なハーブ。育てる楽しみも体験できます。

